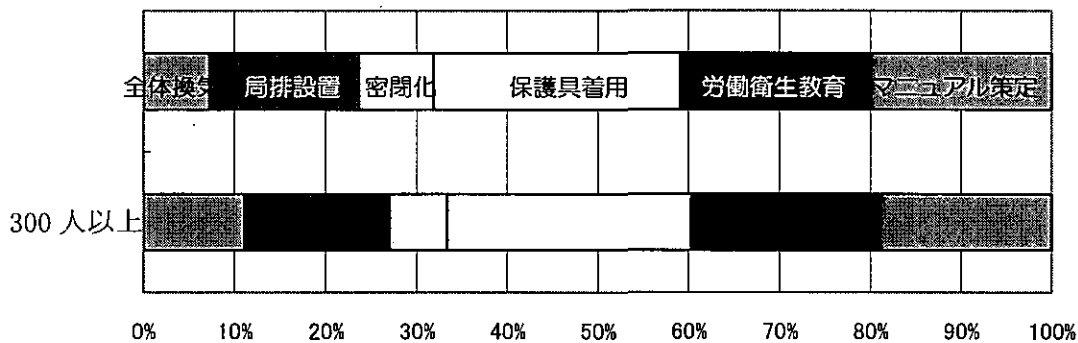


(設問3-3) リスクアセスメントの結果、どのような措置を講じましたか？(複数回答可)

No.	項目	回答数	割合
1	全体換気装置を設置(既に設置していて、追加した場合を含む。)した。	8	7%
2	局所排気装置を設置(既に設置していて、追加した場合を含む。)した。	18	16%
3	密閉設備・隔離設備を設置(既に設置していて、追加した場合を含む。)した。	9	8%
4	保護具を着用した。	30	27%
5	労働衛生教育を実施した。	23	21%
6	作業規定(作業マニュアル)を策定した。	22	20%
—	無回答	1	1%
合計		111	



事業規模 300 人未満の回答

No.	項目	回答数	割合
1	全体換気装置を設置(既に設置していて、追加した場合を含む。)した。	7	10%
2	局所排気装置を設置(既に設置していて、追加した場合を含む。)した。	10	16%
3	密閉設備・隔離設備を設置(既に設置していて、追加した場合を含む。)した。	4	6%
4	保護具を着用した。	17	27%
5	労働衛生教育を実施した。	13	21%
6	作業規定(作業マニュアル)を策定した。	12	19%
—	無回答	0	0%
合計		63	

設問3-3 リスクアセスメント結果により講じた措置について

講じた措置の内容については、事業場規模による差はなかった。具体的には、リスクアセスメントを実施した結果、保護具を着用したこと、労働衛生教育を実施したこと及び作業規定(作業マニュアル)を策定した事業場の割合が高かった。

(設問3-4) リスク低減後の検証まで行われた場合、その結果はどのようなものだったでしょうか？

No.	項目	回答数	割合
1	当初の見込みより低減された。	5	14%
2	当初の見込みどおり低減された。	21	60%
3	当初の見込みほど低減されなかった。	2	6%
	①新たな措置を講じた。(自由記載)	0	0%
	②特に追加の措置は講じていない。	1	5%
	無回答	1	50%
—	無回答	7	20%
合計		35	

設問3-2で「4」・「5」を選択した人数：(29)

◆設問3-2で無回答：(2)

◆複数回答者：(2)

うち3つ回答している：(2)

事業規模 300 人未満の回答

No.	項目	回答数	割合
1	当初の見込みより低減された。	2	11%
2	当初の見込みどおり低減された。	12	63%
3	当初の見込みほど低減されなかった。	1	5%
	①新たな措置を講じた。(自由記載)	0	0%
	②特に追加の措置は講じていない。	0	0%
	無回答	1	100%
—	無回答	4	21%
合計		19	

設問3-2で「4」・「5」を選択した人数：(16)

◆3-2で無回答：(1)

◆複数回答者：(1)

うち3つ回答している：(1)

設問3-4 リスク低減後の検証結果について

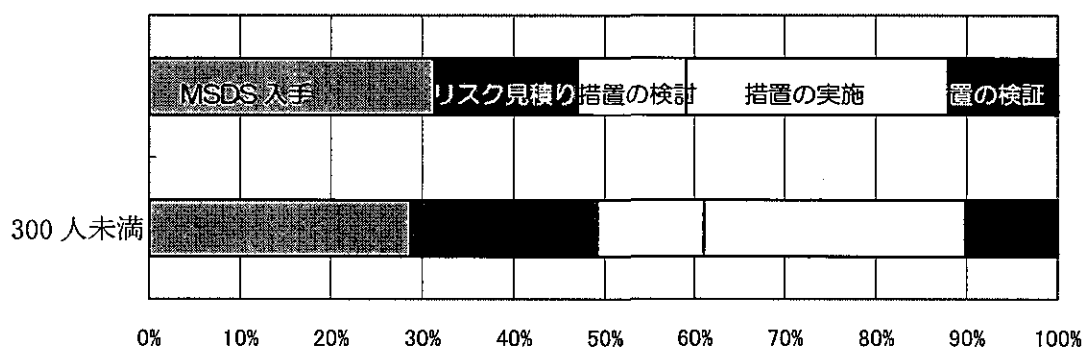
見込みより低減及び見込みどおり低減された事業場の割合が約75%と、リスクアセスメント実施の成果が認められた。

【前記設問2で「2」と回答された事業場にお尋ねします。】

(設問3-5) 御社(貴工場)におけるリスクアセスメントの実施に当たっては、どの段階まで行う予定ですか？

No.	項目	回答数	割合
1	MSDSを作成又は入手するところまで。	26	31%
2	MSDS等に基づき、リスクの見積もり(評価)まで。	13	16%
3	MSDS等に基づき、リスクの見積もり(評価)及び措置の検討まで。	10	12%
4	MSDS等に基づき、リスクの見積もり(評価)及び措置の実施まで。	24	29%
5	リスクの低減措置後の検証まで。	10	12%
-	無回答	0	0%
合計		83	

設問2で「2」を選択した人数：83人



事業規模 300人未満の回答

No.	項目	回答数	割合
1	MSDSを作成又は入手するところまで。	17	29%
2	MSDS等に基づき、リスクの見積もり(評価)まで。	12	20%
3	MSDS等に基づき、リスクの見積もり(評価)及び措置の検討まで。	7	12%
4	MSDS等に基づき、リスクの見積もり(評価)及び措置の実施まで。	17	29%
5	リスクの低減措置後の検証まで。	6	10%
-	無回答	0	0%
合計		59	

設問2で「2」を選択した人数：59人

設問3-5 今後実施予定のリスクアセスメントの段階について

今後、リスクアセスメントを導入していくに当たり、MSDSを作成又は入手するところまでを検討しているのは、事業場規模にかかわらず、約3割の事業場が回答している。これ以降の措置として、作成または入手したMSDS等により、リスクの見積り(評価)及び措置の実施までを検討している事業場も、規模にかかわらず、約3割であった。

リスクの低減措置後の検証まで予定している事業場は、約1割程度に止まっている。

4. リスクアセスメントを実施する上での課題等

(設問4) リスクアセスメントを実施する上での課題は何ですか? (複数回答可)

No.	項目	回答数	割合
1	実施するに当たって十分な知識を有する人材がいない又は不足している。	107	25.1%
2	相談する人又は機関がない又は分からない。	21	4.9%
3	リスクアセスメントを実施する時間がない。	47	11.0%
4	リスク評価の方法が分からない。	38	8.9%
5	リスク評価に基づく措置を決定する時の判断基準などがよく分からない。	44	10.3%
6	リスク評価に基づく措置の実施が技術的に困難である。	28	6.6%
7	リスク評価に基づいて措置を実施する具体的な措置に関する知識がない又は具体的な措置が分からない。(現場での実施方法が分からない)	32	7.5%
8	リスク評価に基づく措置を実施する予算がない。	32	7.5%
9	リスクアセスメントの実施に当たり、現場の協力が得られない。	10	2.3%
10	過去にリスクアセスメントを実施したが、効果が実感できないため継続していない。	6	1.4%
11	リスクアセスメントの必要性を感じない。	10	2.3%
—	その他	31	7.3%
—	無回答	21	4.9%
合計		427	

事業規模 300 人未満の回答

No.	項目	回答数	割合
1	実施するに当たって十分な知識を有する人材がいない又は不足している。	77	25.0%
2	相談する人又は機関がない又は分からない。	13	4.2%
3	リスクアセスメントを実施する時間がない。	37	12.0%
4	リスク評価の方法が分からない。	31	10.1%
5	リスク評価に基づく措置を決定する時の判断基準などがよく分からない。	31	10.1%
6	リスク評価に基づく措置の実施が技術的に困難である。	17	5.5%
7	リスク評価に基づいて措置を実施する具体的な措置に関する知識がない又は具体的な措置が分からない。(現場での実施方法が分からない)	22	7.1%
8	リスク評価に基づく措置を実施する予算がない。	25	8.1%
9	リスクアセスメントの実施に当たり、現場の協力が得られない。	6	1.9%
10	過去にリスクアセスメントを実施したが、効果が実感できないため継続していない。	5	1.6%
11	リスクアセスメントの必要性を感じない。	8	2.6%
—	その他	22	7.1%
—	無回答	14	4.5%
合計		308	

設問4 リスクアセスメント実施上の課題について

事業場規模にかかわらず、リスクアセスメント実施上の課題として、「人材がいない又は不足」が最も多く、次いで「実施する時間がない」、「リスクアセスメントに基づく措置決定時の判断基準がよく分からない」、「リスクアセスメント実施の時間がない」、「リスクアセスメント方法が分からない」等の課題が挙げられている。

5. その他

(設問5) 貴事業場の業種、規模※をご記入ください。

(※規模については、本年3月末時点において、事業場単位で常時使用する労働者(派遣等の非正規職員を含む。構内下請の方を除く。)についてお答えください。)

(1) 業種

事業規模 300 人未満の回答

No.	項目	回答数	割合
1	建設業	12	5%
2	製造業	157	71%
3	電気・ガス・熱供給・水道業	3	1%
4	情報通信業	0	0%
5	運輸業	4	2%
6	卸売・小売業	3	1%
7	飲食店、宿泊業	0	0%
8	サービス業	7	3%
9	その他	30	14%
—	無回答	5	2%
合計		221	

No.	項目	回答数	割合
1	建設業	10	6%
2	製造業	115	71%
3	電気・ガス・熱供給・水道業	3	2%
4	情報通信業	0	0%
5	運輸業	3	2%
6	卸売・小売業	3	2%
7	飲食店、宿泊業	0	0%
8	サービス業	6	4%
9	その他	22	14%
—	無回答	0	0%
合計		162	

(2) 規模

事業規模 300 人未満の回答

No.	項目	回答数	割合
1	30 人未満	40	18%
2	30~49 人	21	10%
3	50~99 人	44	20%
4	100~299 人	57	26%
5	300~499 人	22	10%
6	500~999 人	14	6%
7	1,000 人以上	12	5%
—	無回答	11	5%
合計		221	

No.	項目	回答数	割合
1	30 人未満	40	25%
2	30~49 人	21	13%
3	50~99 人	44	27%
4	100~299 人	57	35%
5	300~499 人	0	0%
6	500~999 人	0	0%
7	1,000 人以上	0	0%
—	無回答	0	0%
合計		162	

「化学物質の情報を入手する方法とその内容についてのアンケート」集計結果

1 調査目的

事業場で化学物質の情報を入手しようとするときに障害となると思われる事項について、調査する。

2 調査対象

平成21年に実施した化学物質管理者研修の参加者（12会場）

3 調査時期

平成21年10月16日～12月17日

4 調査方法

研修終了後、参加者に対しアンケートへの記入を依頼し、回収した。

5 回収結果

有効回答数：910名

うち、記入者が所属する事業場の業種および記入者の職種も併せて調査したもの：192名

6 調査結果の概要

別紙のとおり

アンケート結果 (複数回答)

